

第 8 回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成 23 年 7 月 27 日（水）

場 所：本部棟 3 階大会議室

出席者：高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、清水雅彦学長補佐

阿毛久芳大学院研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、儀部直樹英文学科長

進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長、杉本光司地域交流研究センター長

稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：加藤祐三学長、田中一利理事、大平栄子学長補佐、牛山恵国文学科長代理

■挨拶

高田副学長よりあいさつ

議 事

1. 特任教員（外国語教育研究センター）の採用について（投票）

○担当より補足説明、投票の結果、それぞれ信任多数により承認。

・特任教授 タイプ B、特任講師 タイプ B

*授業は週 3 日持ってもらうこととしている。また、担当科目の関係で木曜日だけどちらも不在という形となるが、その他の曜日は必ずどちらかがセンターに居る形となる。

任期については、1 年更新の最長 5 年までとする

2. 専任教員の採用（初等教育学科）発議・公募について

○担当より説明、審議の結果、発議について承認し、公募については次回の教育研究審議会にて再提案。

・今回の提案は前回の教育研究審議会での意見を踏まえ、現在、非常勤講師に物理系科目を受け持ってもらっている現状、また自然環境科学系の 4 領域（物理・化学・生物・地学）の専任教員の必要性を中心とし、将来、附加価値として中学校理科免許課程の設置を視野に入れ資料を作成し提出。教員の増員拡大をしていくという考えではなく、学科運営上最低限必要な人事であるということを理解して欲しい。また、教職科目も担当科目に入れているので、物理科目だけではなく教職科目にも力を入れてくれる人を考えている。

*公募要項についての審議は行っていない。

3. 英文学科教員配置計画について

○担当より説明、審議の結果、教育研究審議会に出た意見を学科に持ち帰り議論の結果を集約し、次回の教育研究審議会にて再提案。

- ・英文学教員の必要性が分かりにくいので、英文学教員の必要性を明確に示してほしい。
- ・プロジェクトCでは、英文学科教員配置については2回話し合いが行われている。

4. 都留文科大学と湖南師範大学との交換留学協定（案）について

○英文学科教授(国際交流センター)より前回からの変更箇所について説明、審議の結果、提案通り承認。

5. 海外指定校留学生受け入れ制度（案）について

○英文学科教授（国際交流センター）より説明、審議の結果、各自資料を確認し次回の教育研究審議会にて再審議。

＊今回初めて出てきた議事であり、すぐに結論が出せたいため次回の教育研究審議会にて再審議。

6. 湖南師範大学から都留文科大学への指定校留学協定について

○英文学科教授(国際交流センター)より前回からの変更箇所について説明、審議の結果、提案通り承認。

7. 都留文科大学大学院リサーチ・アシスタント規程（案）について

＊今回は審議を行わず、次回の教育研究審議会にて審議を行う。